

ASEM女性の経済的エンパワメント に関する会合（於：ビリニユス） 滝沢政務官ステートメント 〈5月25日（木）〉

御列席の皆様，

（冒頭発言）

- ASEM 女性の経済的エンパワメントに関する
会合の主催国として，開催の労をとられた
リンケビチウス外務大臣，
ククライティス社会保障労働大臣を始め，
リトアニア政府，その他関係者の皆様に
心から感謝申し上げます。

（ASEM）

- 女性の経済的エンパワメントは，
社会に活力をもたらす国際社会共通の
取組として，日本が今最も重視すべきと考える
政策の一つです。

相互尊重と平等の精神に基づき、政治、経済、社会・文化等を3つの柱に発展を続けているASEMは、昨年で20周年を迎え、新たな10年のスタート地点に立つ節目の年に、女性政策について、将来を見据えた力強いメッセージを国際社会に打ち出していくことが重要と考えます。

（女性政策）

- 我が国は、全ての女性が自分らしく活躍できる社会の実現を政府の重要課題と位置づけ、近年様々な政策を実施してきました。その結果、安倍政権下の約4年間で、女性の就業者数は約150万人増加し、第一子が生まれた後も働き続ける女性の割合が、初めて5割を超え、上場企業の女性役員も倍増しました。今後も更に女性が活躍する社会の実現に向け、積極的に課題に取り組んで参ります。

特に、長時間労働の是正、
同一労働同一賃金の実現等の働き方改革は
優先課題となっており、
関連法案を早期に国会に提出する予定です。
また、保育の受け皿の整備、
出産や育児等の理由で一度職を離れた女性が
再度仕事を得るためのリカレント教育の充実、
女性リーダーの育成等様々な取組を
進めていきます。

- 国際社会に目を転じれば、
女性のエンパワーメントは、
先進国と途上国の双方において進めることが
重要です。SDGsの達成のためにも、
日本は双方における貢献にコミットしており、
安倍総理は、途上国における女性たちの権利の
尊重、能力発揮のための基盤整備、

そしてリーダーシップの向上を重点分野として、
2016 年から 2018 年までの 3 年間で総額約 30 億
ドル以上の支援を行う旨表明しています。

- また、我が国は、女性活躍促進について他国の
経験からも学ぶべく、
ASEM における議論を促進していく考えです。
今次会合では、ジェンダー専門家として、
日本が主催する国際女性会議 WAW! でも活躍する
大崎麻子関西学院大学客員教授が、
日本の地方・農村部における
女性の経済的エンパワーメントに係る課題につ
いて講演を行います。
活発な議論が交わされることを期待します。

(結言)

- 結びに、我が国は、成長を続けるアジアと

成熟を深める欧州の協力強化を図る ASEM を重視しております。今年は、11 月にミャンマーで外相会合が開催されますが、今回の 1.5 トラックの場に加え、各国外相が一堂に集う場においても、女性のエンパワメントについて議論が交わされ、次の 20 年を見据えた方向性が示されることを期待しており、我が国としても貢献を惜しまない考えです。

ご静聴ありがとうございました。